

新年

あいさつ



国のゆくえ、村の課題

関川村長 平田大六

あけましておめでとうございます。村民の皆さまにおかれましては、新しい思いで新年をむかえられたこと拝察いたします。昨、二〇一一年は、国内外できびしい年でした。

そのひとつは、東日本大震災です。直後から、現地救援活動、義援金や物資の寄贈、避難者受入れなど、率先してご協力いただき感謝申し上げます。それにつづく原子力災害は、日本中に色濃くその影響を及ぼし始めています。関川村におきましても、空間環境、農林産物などの放射線量の数字から、対応にせまられた事例もありました。村にとっては未知の経験でありますので、県や研究会などで積極的に認識を深め、村民生活の安全安心を期してまいります。もうひとつは、TPPです。「農」を基幹産業としている関川村として、私は反意を表してきました。しかし、国がその方向に進もうとしている今日、新しい環境下で

村の「農」をどうやって維持発展させてゆかが課題となりました。

村の高齢化は進みます。医療・介護など福祉面での財政負担をおさえるためにも、健康づくりにご協力をお願いいたします。

関川中学校の体育館がまもなく完成します。三学期の後半からは使用できる見通しです。

大震災後、問題点が浮びあがりはじめました。エネルギー国策の見直しも必至です。これは国民の生活の上で、その価値観にまで及ぼすものと思われま

す。皆さまにとりまして良い年になりますことを祈念いたします。

謹 賀

年 頭 の ご



望む「景気回復」

関川村議会議長 高橋 八 男

明けましておめでとうございます。村民の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

昨年三月の東日本大震災、七月の豪雨災害による大勢の犠牲者、いまだに避難されている皆様にご冥福とお見舞いを申し上げます。二十一世紀の新たなページを刻むこの時に、緑豊かな地球に生き、この瞬間にしか味わえないたくいまれなる感動を、村民の皆様方とともに迎える喜びは、まさに言葉では言い表せないものがあります。しかしながら、世界の政治、経済は依然先行きの不透明感が払拭できない情勢であり我が国においてもTPP、円高、ドル安問題で景気回復のための諸施策が講じられていくところですが、一刻も早い回復を望みたいところであります。

国の財政も厳しい中、我が村におきましても同様の厳しい財政運営をよぎなくされています。地方自治を取り巻く環境はますます多難でありその舵取りも厳しいものがあります。村では「豊かで住みよい活気

ある村づくり」自立に向けた第五次総合計画に基づき村づくりが着々と進められ、村民生活に密着したさまざまな諸施策も着実に遂行されています。現在、国におきましては経済の再生にむけ、地方自治体も、長引く景気の低迷や、少子高齢社会、介護保険、国民健康保険などさまざまな課題に直面し今まさに、村づくりそのものが大きく変化してきております。

こうした厳しい環境を乗り越え、心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できる村づくりを進めていくため、村民皆様と協働しながら、皆様の求める効率よい行政を念頭に村執行部と互いの知恵を出し合いながら村民参加の村政運営に努力していく所存であります。

多難な財政状況と、依然として厳しい生活環境ではございますが、村民の皆様との一年が皆様方にとって輝かしいものであるようにご祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。